

調布生まれの調布育ちのいちご、朝採りの「やよいひめ」が評判に

今が旬のいちごが店頭に並んでいる。栃木産の「とちおとめ」や福岡産の「あまおう」が多いが、調布駅前のJAマインズや染地、国領、多摩川住宅横のスーパーでは市内の農家が育てた「調布のいちご」が評判になっている。JAマインズでは「朝採れのいちごで新鮮そのもの。農家さんが毎日届けてくれます。午前中に売り切れますね」と言う。市役所農政課では「市内でいちご生産農家は数件ほどです」と話す。筆者は自宅近くのスーパーで買い食べてみたが「あまおう」のような甘味はないが、採りたての新鮮な味がする。噛み応えがあり、いちご畑で食べた昔ながらのいちごといった感じだ。値段は1パック6個入りで約600円だった。

市内での数少ないいちご農家のひとりが布田の石森光峰さん。キャリアは20年、親子2代の農家で現在、自宅近くのハウス150坪(約500平方メートル)で「やよいひめ」を作っている。「前はとちおとめも作っていましたが、7年前からやよいひめ1本に。5年前から苗も自分で作っています。正真正銘、調布生まれの調布育ちのいちごです。4月は日の出前の午前5時半頃から採り始め、JAや近くのスーパーに届けています。卸し業者を入れていないので、採りたてのいちごの味、新鮮そのものですよ」と胸をはる。

いちごは300種類もある。色艶、熟度、旨味、甘味、形など1粒ごとに違う。品種改良も進み最近では栃木の「とちあいか」や埼玉の「あまりん」なども店頭にならんでいる。「私が作っている『やよいひめ』はマイナーで知らない人が多いが、採りたてを店に届けているので鮮度ではどこのいちごにも負けられない。東京いや調布にも美味しいいちごがあることを知ってもらいたい」とその情熱は高い。地産地消の面からも調布のいちごを応援したい。(大泉 清)

下布田遺跡に市民が作った「バイオネスト」(Bio-nest)が登場

整備が本格化する下布田遺跡に、直径約3メートルほどの鳥の巣のような「バイオネスト」が誕生し、環境に優しい昆虫の住み家として話題を集めている。郷土博物館の学芸員・立川明子さんが「遺跡の管理作業で発生した剪定材や落ち葉などを、そのまま投入するのでやがて堆肥になります。燃やすのではなく、自然の力で土にかえる堆肥置き場です。春になれば、ここに昆虫が住み出し子供たちの環境教育にも役立ちます」と解説する。ちなみにBioは生命体(ギリシャ語)、nestは鳥や昆虫の巣という意味だそうです。

春場所で調布出身の力士・花の海が西幕下10枚目で活躍

調布のわんぱく相撲で活躍し大相撲の力士となった花の海(本名、花房海、20歳。二所ノ関部屋)が西幕下10枚目。「全勝すれば十両に上がれる地位ですね」(日本相撲協会広報部)。しこ名を花房から花の海に替えてから強くなり、今年の初場所では西幕下29枚目で6勝1敗で幕下10枚目まで上がった。春場所は残念ながら2勝4敗1休だったが、調布から関取が誕生することを期待したい。

【FC 東京応援記】

第5節時点で勝ち点5。1勝のみ。しかし、4節福岡戦は良かった。ディエゴが先発を外れ、ゼロトップのように荒木と松木が縦ラインで攻め、遠藤と仲川が更に絡む。小泉と高の回るようなポジション取り。長友と佳史扶は中に入り攻撃し、森重と木本が的確にラインを取る。ボールが回り、得点が量産された。3節までは前年と同じディエゴに頼った戦い、そこからの脱却。今シーズンはこれを目指すのだとワクワクしクラシコを迎えた。結果は惨敗。気温が上がったこの日、終盤はスピード負け、ボールも保持できない。次は国立。立て直しを祈る。(日比生)

ちょビット

No.32



調布社協 インフォメーション

調布社協では市内のお店や企業、事業所、178ヶ所にご協力いただき「しあわせ・福祉・はこぶ箱」(募金箱)を設置させていただいております。

令和5年度は、総額568,285円の募金をいただきました。市内の住民主体活動など、地域福祉のために大切につかわせていただきます。

募金箱を新たに設置いただける方はぜひ調布社協までお問合せください。

2024年4月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！


調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
	1日	15日	16日	30日			


① 『調布 the 盆 dance』ウィーンで盆踊りを披露
盆踊りで調布を盛り上げようと活動している団体『調布 the 盆 dance』が、音楽の都ウィーンで盆踊りを披露してきました。2024年2月10日、200年の歴史を持つ由緒あるオーストリア法律家協会主催の舞踏会が、ホーフブルグ宮殿で開催。オーストリアで一番有名なヨハンシュトラウス1世が作曲した「ラディツキー行進曲」に舞踊家「佳卓」さんが振り付けをした盆踊りを、深大寺蕎麦組合のご協力で作成したうちわを使い、踊ってきました。見る見るうちに大きな輪に…その様子をご覧ください。

② タップダンス講習会 ～手作り！王冠タップシューズ～
ビンの王冠を靴底に接着した手作りのタップシューズで、大人も子どもも一緒にチャレンジできるタップダンスの講習会が行われました。早速みんなで靴底にビンの王冠を接着する、タップシューズ作りです。最後は音楽に合わせてオンステージ。参加者は大人も子どもも楽しそうに、靴を鳴らして踊っていました。

③ 厄除元三大師大祭～深大寺だるま市～ 境内にはたくさんの店が並び、大小さまざまなカラフルなだるまが飾られ、どの店も大盛況。元三大師堂前には、だるまの目入れを待つ人の長蛇の列。僧侶の手によってだるまの左目にものごとの始まりを意味する「阿」(あ)の字が書きこまれます。



「調布 the 盆 dance」
ウィーンで盆踊りを披露
日時 2024年2月10日(土)
場所 ホーフブルグ宮殿
主催 オーストリア法律家協会






タップダンス講習会
～手作り！王冠タップシューズ～

ラジオ	「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
	調布 FM: 83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
	月	放送日	内容	ご紹介

4月	1日(再放送)	宮本苑生の『詩の世界』	東尾あや詩集『風わたり』から、「風わたり」、「哀しみの鳥」、「白湯」、他の朗読をお届けします。朗読: 峯田里香子
	8日(再放送)	東尾あやさんの詩の朗読	
	15日(放送)	ゲスト: 福谷 雅恵さん	アコーディオン奏者として、様々なボランティア活動をしていらっしゃる福谷雅恵さんにアコーディオンとの出会いから、現在の活動についてお話を伺います。 インタビューア: 柴田紀恵子
	22日(再放送)		
29日(再放送)			

HP 新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)
 (すべての番組2015年～現在まで)
<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)
<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)

【公式HP】 【アーカイブサイト】 【フェイスブック支局】

使っている銀行はどこですか？ お金の話の電話は詐欺

市内での特殊詐欺の発生件数は令和4年は72件、被害額は約1億2674万円。今年になっても特殊詐欺は増えている。調布警察署(電話042-488-0110)では「使っている銀行はどこですか？ お金やキャッシュカードの話が出る電話は詐欺です。ATMでは還付金は戻りません」と注意喚起。

救急車不足、病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？迷ったら#7119へ

東京消防庁の調べでは、昨年の救急出動件数は過去最多を更新し、119番通報がつながりにくい時間帯も発生。調布消防署(電話042-486-0119)では「管轄内では今年3月20日までに救急件数は2750件、救護人員は2268人。病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？迷ったら#7119へ」と呼び掛け。